



江南小だより

八戸市立江南小学校 学校だより
令和3年3月26日発行
通算 第518号

教育目標 強い子になろう



一人一人だれもが「ダイヤモンド」

校長 花生 典幸

校庭のまわりの木々のつぼみもだいぶふくらみ、春の訪れが間近なことを感じられるようになりました。

3月19日(金)、保護者や地域のみなさまからの温かい祝福を受けて、7名の6年生が元気に学校を巣立っていきました。ご参加くださった方々の励ましに満ちたまなざしが、しっかりと子どもたちの胸に刻まれたように思います。ありがとうございました。

そして今日3月26日(金)、1年生から5年生まで88名の子どもたちは、立派に修了証書を受け取り、もうすぐ学年を一つずつ進めることとなります。コロナ禍の不自由な生活が続く毎日でしたが、この一年、子どもたちにとりまして明るく充実した日々を重ねてくることができたのも、ひとえに保護者・地域のみなさまの温かなご支援とご協力のおかげによるものと、心から感謝を申し上げます。

さて、3月2日(火)の全校集会(この日が1年生から6年生までが一同に集まる最後の集会になります)の折に、子どもたちに「ダイヤモンド」のお話をしました。

——ダイヤモンドという宝石をみなさん知っていますね(写真を見せる)。宝石売り場であって、ダイヤモンドは最も高価で、一番輝いている宝石です。このダイヤモンドが埋まっているところは、地球の中でも地下深い場所(限られた場所にしか存在しないので希少性も高い)です。そんな場所で、ダイヤモンドはものすごい力(圧力)に押しえつけられ、その重さに耐え、とても小さくなって固まり、とてつもなく硬くなりました。そのダイヤモンドが、地面の下から掘り出された時は、こんな姿をしています(原石の写真)。その辺に普通にある石に見えますよね。輝きもありません。ダイヤモンドは、この後磨いて磨いて、磨き続けていくうちに、こんなふうに輝きを増してくるのです。そしてなんと**ダイヤモンドを磨くことができるのは、実はダイヤモンドだけ**なのです(あまりに硬すぎて、金属の研磨機はすぐにボロボロになってしまう)。……わたしは、みなさん一人一人をダイヤモンドだと思っています。あなたも、あなたも……ここにいる全員。

みなさん一人一人が、それぞれに素晴らしい力や素質を秘めたダイヤモンドの原石なのです。でも原石は磨かないと光りません。だから、クラスにいる友だちどうし、ダイヤモンドどうしで、勉強の時に意見をたくさん言い合ったり、困った時にはアイデアを出し合ったり、運動の技やレベルを競い合ったりしながら、**共に磨き合ってください。高め合ってください。**これからはもしかすれば、みなさんにもっとつらいことや大変なことが訪れるかもしれません。でもいやなこと、つらいことがあった時でも、簡単にくじけたりせず、「**自分はダイヤモンドなんだ。がんばれば輝けるんだ**」、そう信じて、前を向いてがんばってください。

春休みの生活の指導は学校でも十分行いますが、子どもたちはやや解放された気分になりがちです。非行や交通事故等に気をつけるよう、励まし見守ってくださればありがたいです。

新学期には、希望に輝いて登校する子どもたちの姿がまたたくさん見られることを楽しみにしています。一年間ありがとうございました。

